

第2回 全国史料ネット研究交流集会

入場無料
事前申し込み
不要

1995年の阪神・淡路大震災を機に設立された歴史資料ネットワークを皮切りに、全国各地で20以上の史料ネットが立ち上がり、災害から歴史資料を保全し、災害の記録を保存する活動に取り組んでいます。2011年3月の東日本大震災では、国の被災文化財等救援本部の活動とともに、史料ネット同士の連携と協力によって、地域に伝えられた多くの歴史・文化遺産が救出されました。2014年10月には国立文化財機構内に「文化財防災ネットワーク推進本部」が設置され、歴史・文化遺産の防災に向けた全国的な連携体制づくりの強化が望まれています。

2015年2月、阪神・淡路大震災と歴史資料ネットワークの活動開始20年の節目を迎え、神戸市内で初めての全国史料ネット研究交流集会在開催されました。全国各地の史料ネットが一堂に会し、『地域歴史遺産』の保全・継承に向けての神戸宣言」を採択して、盛会のうちに幕を閉じました。

続く第2回は、東日本大震災5年の節目にあたる2016年3月に、被災地の一つである福島県内で開催するはこびとなりました。この5年間に東日本大震災後の被災地で取り組まれてきた諸活動から得られた経験を共有し、大規模災害に対する日常的な備えのあり方を展望するとともに、先の「神戸宣言」の趣旨を踏まえ、独自の活動を進める各地域のネットワーク同士の「つながり」を大切し、実践に向けての連携を発展させる場にしたいと考えています。

ご多用中恐縮ではありますが、ぜひ全国から多くの関係者にお集まりいただき、議論と交流を深めていただきますよう、お願いいたします。

開催日時 | **2016年3月19日(土) 13:00 ~ 17:30**
20日(日) 9:00 ~ 13:00

会場 | **福島県郡山市 郡山市民プラザ 大会議室 (ビッグアイ7階)**

〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11-1

※JR郡山駅北口を出てすぐ、郡山モルティ店のエレベーターをご利用ください。

主催

第2回全国史料ネット研究交流集会実行委員会、独立行政法人国立文化財機構

共催

科学研究費補助金基盤研究(S)「災害文化形成を担う地域歴史資料学の確立—東日本大震災を踏まえて—」(研究代表者・奥村弘)研究グループ

後援

岩手歴史民俗ネットワーク/NPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク/山形文化遺産防災ネットワーク/ふくしま歴史資料保存ネットワーク/茨城文化財・歴史資料救済・保全ネットワーク/千葉歴史・自然資料救済ネットワーク/NPO法人歴史資料継承機構じゃんびん/神奈川地域資料保全ネットワーク/新潟歴史資料救済ネットワーク/福井史料ネット/長野被災建物・史料救援ネットワーク/地域史料保全有志の会/静岡県文化財等救済ネットワーク/歴史資料ネットワーク/歴史資料保全ネット・わかやま/岡山史料ネット/山陰歴史資料ネットワーク/愛媛資料ネット/歴史資料保全ネットワーク・徳島/宮崎歴史資料ネットワーク/鹿児島歴史資料防災ネットワーク(準備会)/福島県教育委員会/郡山市教育委員会/公益財団法人福島県文化振興財団/福島大学うつくしまふくしま未来支援センター/福島民報社/福島民友新聞社/河北新報社

※随時追加予定



文化庁
Agency for Cultural Affairs
Government of Japan

平成27年度美術館・歴史博物館
重点分野推進支援事業

【問い合わせ先】

第2回全国史料ネット研究交流集会実行委員会事務局

阿部浩一 (福島大学、ふくしま歴史資料保存ネットワーク)

e-mail shiry-net@ipc.fukushima-u.ac.jp

facebook <https://www.facebook.com/NationalConventionShiryNet2/>